

10. 地域医療連携・患者支援センター部

はじめに

当院の地域医療連携・患者支援センター部は、①入退院支援センター、②医療相談室、③地域医療連携室、④がん相談支援センターの4部門が置かれ、医師、看護師、MSW、事務職員によって構成されている。4部門には、それぞれ室長が置かれ（いずれも併任）、協力して業務の運営にあたっている。4部門の業務はそれぞれ、①入退院を通じて多職種連携による「患者様のフロー（流れ）」の調整、②各種医療相談、③診療・検査予約、転院窓口、地域連携医療情報システム、病院広報誌の発行やホームページの運用管理、公開講座の開催支援を行っているが、それぞれの部門の仕事が相互に重なっており、一体となって上記業務を行っている。

入退院支援センターは、2023年3月末で現在15診療科（整形外科・外科・心臓血管外科、脳神経外科、泌尿器科、乳腺外科、産婦人科、眼科、循環器科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、皮膚科、膠原病内科）の入退院支援を行っている。

なお、当院は「地域医療支援病院」、「がん診療連携拠点病院」としての機能を付与されており、この機能を継続していくためには、一定以上の紹介率・逆紹介率の確保、医療機器の共同利用、共同診療病床の確保、相談窓口の設置、がん情報の提供、がん相談、病病連携・病診連携の構築など達成しなければならない条件がいくつか存在するが、その多くは、現在担っている業務に属している。その意味で、地域医療連携・患者支援センター部は当院の営業を支えている部門と言える。

また、地域医療連携システムの金鯢メディネットは、インターネット上で連携施設のパソコンから当院のカルテや画像などが閲覧できるシステムであり、その利用施設数は2023年3月末で105施設（診療所60、病院18、訪問看護3、薬局18、臨床6）となっている。

以下に、地域医療連携・患者支援センター部における2022年度の実績を記述する。また、院内外で実施されている研究会・研修会の一覧もここに付記する。

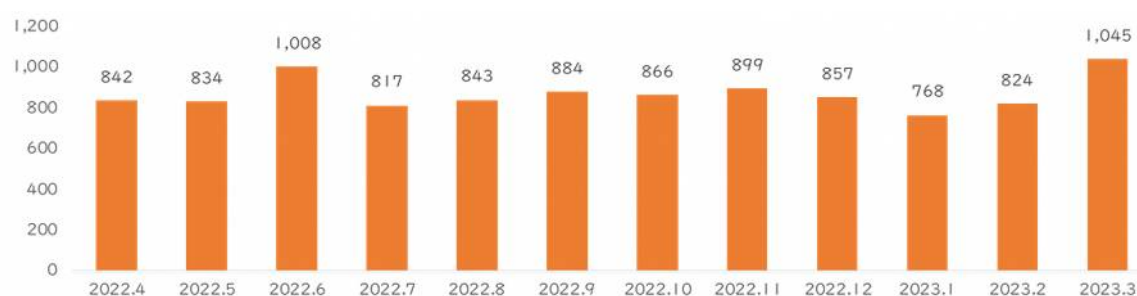
2022年度は2020年度、2021年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったが市民公開講座をはじめ、様々な研修会・研究会について感染対策を行った上で開催した。

地域医療連携室

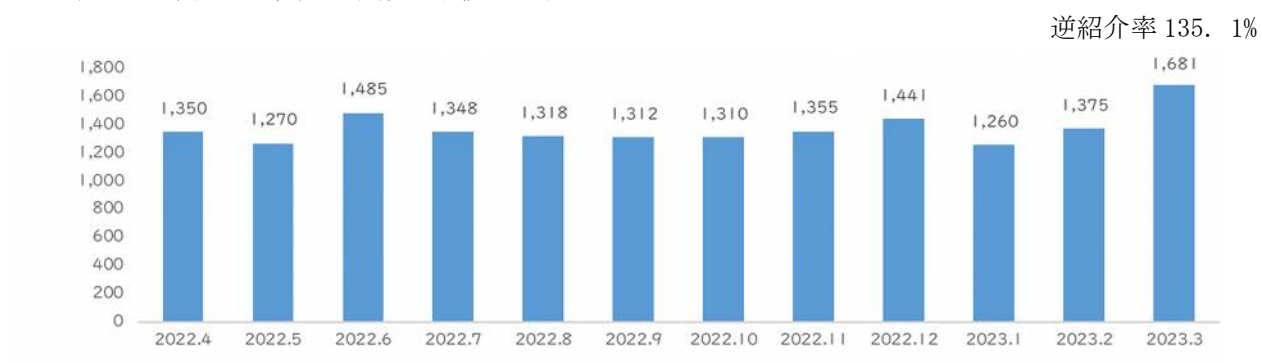
1. 医療連携実績

1) 2022年度の紹介患者数の推移を示す

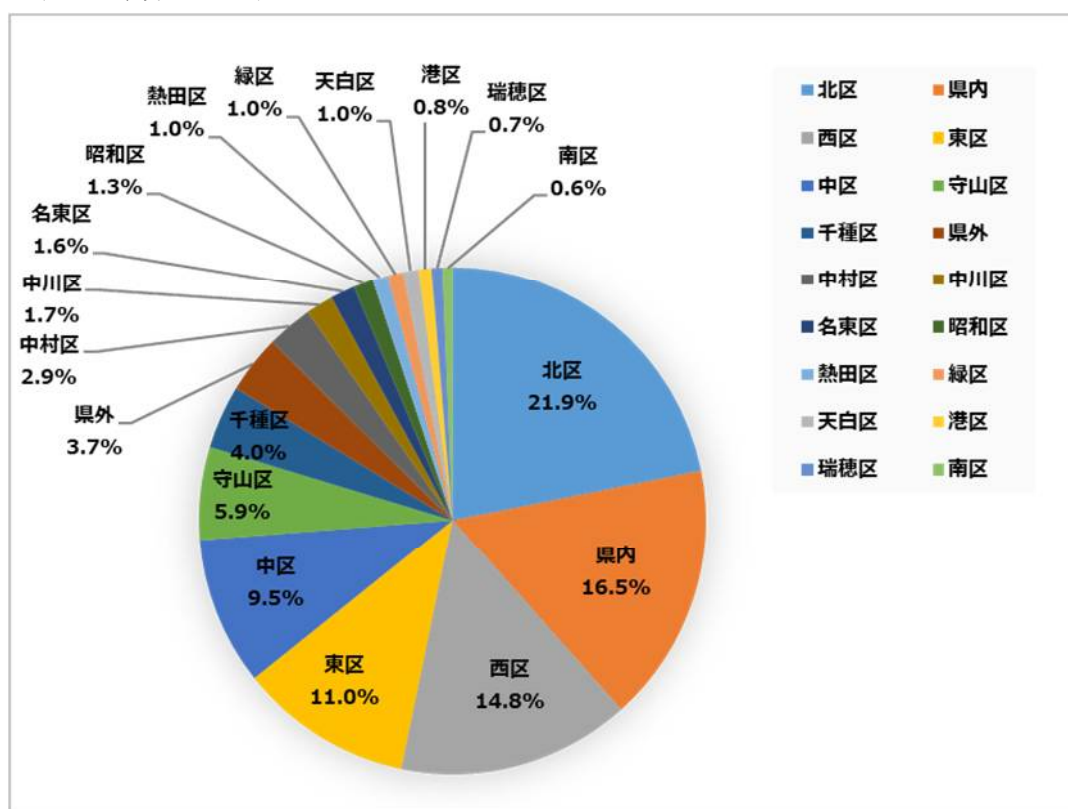
紹介率 88.5%



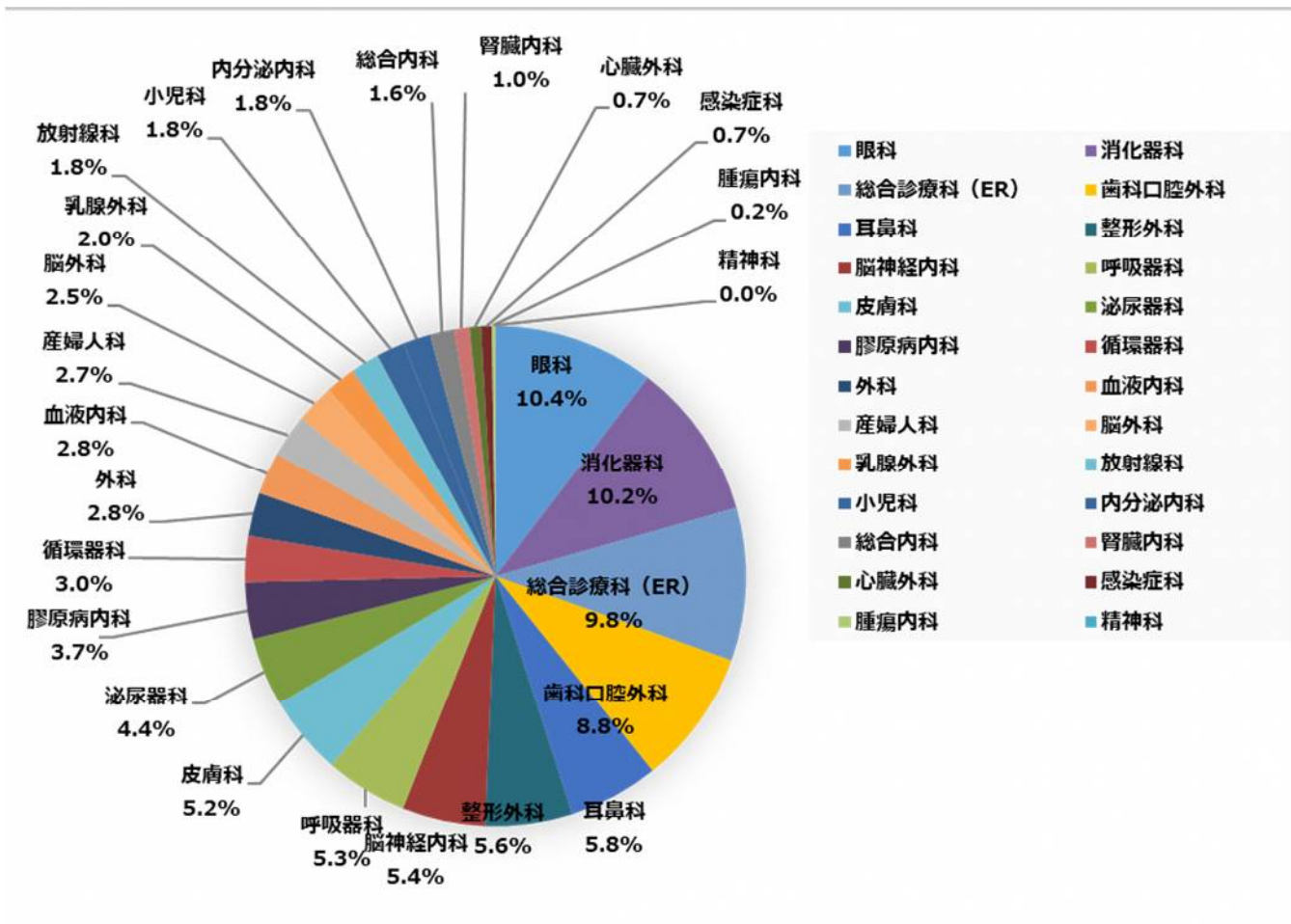
2) 2021 年度の逆紹介患者数の推移を示す



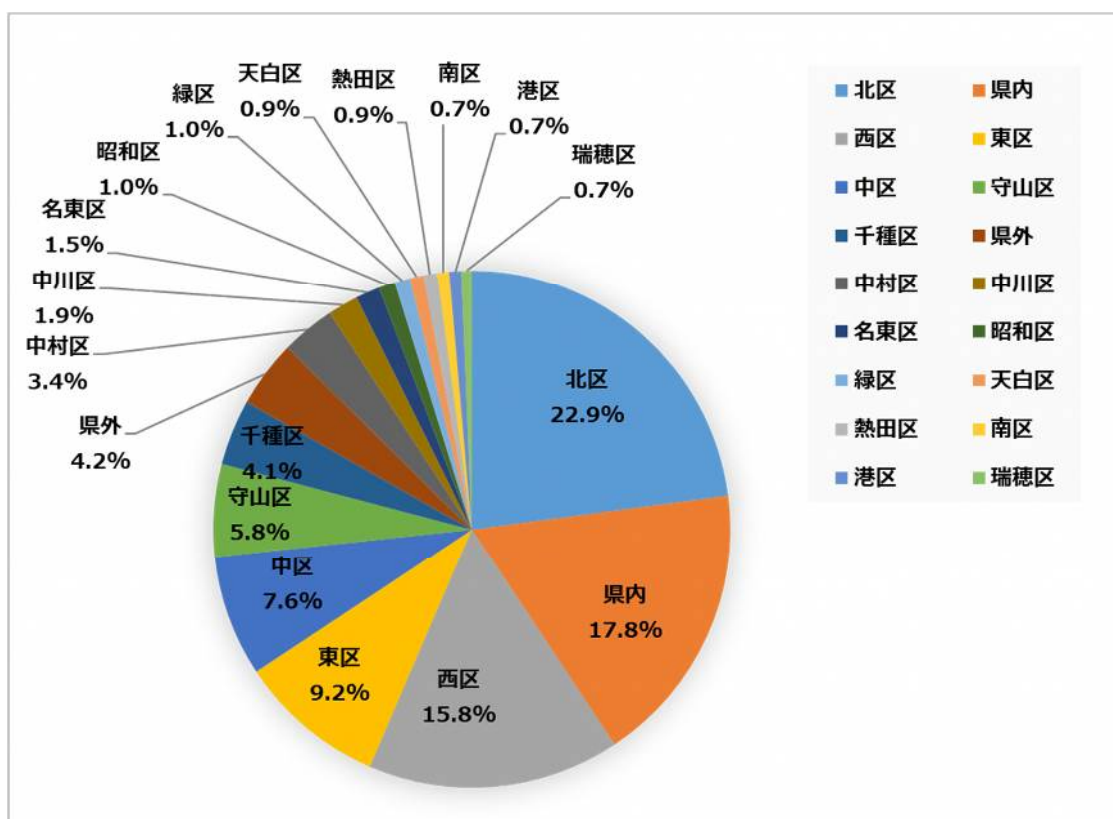
3) 紹介患者の地域分布を示す



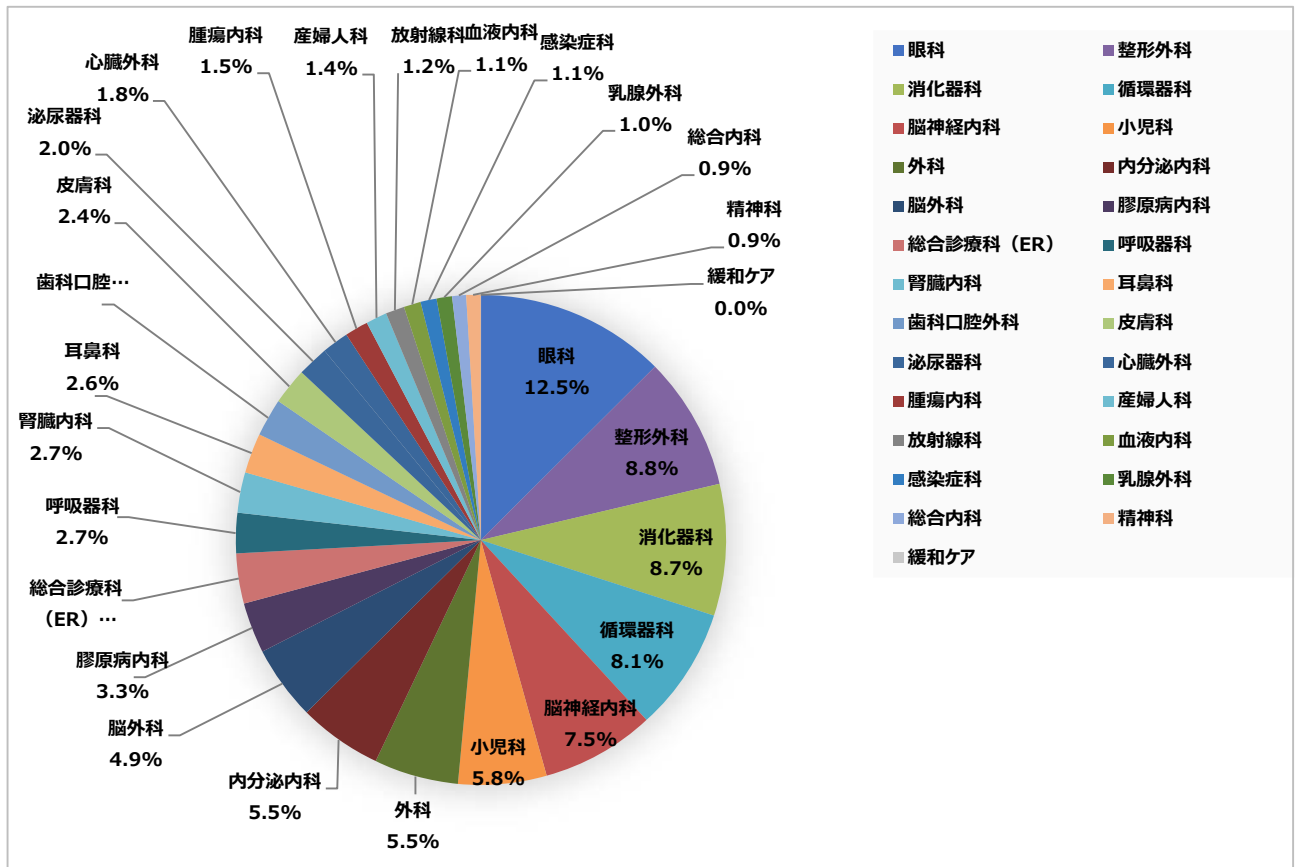
4) 紹介患者の紹介先診療科分布を示す



5) 逆紹介患者の地域分布を示す



6) 逆紹介患者の紹介元診療科分布を示す



7) 共同診療

当院では、名古屋市医師会病診連携システムの登録医と当院医師による共同診療及び指導を目的とした専用病床（開放型病床）を5床設置している。

○2022年度の開放病床利用による共同診療件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院患者実数(人)	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	5
入院患者延数(人)	0	12	0	0	0	0	0	1	16	43	27	0	99
開放病床利用率(%)	16.6	3.9	-	-	11.0	0.7	1.9	13.3	6.5	-	5.0	-	4.9

8) 共同機器の利用

○2022年度の大型機器共同利用件数

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
MRI	4	11	6	9	8	5	9	11	9	8	11	10	101
CT	10	11	9	10	14	5	6	8	7	4	5	10	99
SPECT	3	4	5	3	4	3	8	5	7	2	6	2	52
PET-CT	5	0	2	1	3	0	2	1	3	2	2	0	21
合計	22	26	22	23	29	13	25	25	26	16	24	22	273

2. 地域連携クリティカルパス会議

(大腿骨頸部骨折) ※計画策定病院合同で開催

2022年7月7日(木)16:00～17:00 ハイブリッド形式で開催。

(脳卒中)

2022年10月19日(水)15:30～17:00 Web会議形式で開催。

3. 名古屋市医師会病診連携システム運営協議会

2022年9月14日（水）に定例の病診連携システム運営会議をweb会議形式にて開催した。

議題

1. 2021年度病診連携システム実績報告
2. ITと地域連携
3. その他

4. 医療連携交流会

院内外での医療連携促進を目的に講演や意見交換会を行う交流会。2022年度はコロナウイルス感染拡大の影響で中止。

5. 地域医療支援病院運営委員会

今年度は4回の定例の地域医療支援運営委員会をweb会議形式にて開催した。

○第一回 Web会議にて開催

日時 2022年5月11日（水） 14:00～15:00

場所 名古屋医療センター 管理棟5階 第1会議室

○第二回 Web会議にて開催

日時 2022年9月14日（水） 14:00～15:00

場所 名古屋医療センター 管理棟5階 第1会議室

○第三回 Web会議にて開催

日時 2022年11月9日（水） 14:00～15:00

場所 名古屋医療センター 管理棟5階 第1会議室

○第四回 Web会議にて開催

日時 2023年2月8日（水） 14:00～15:00

場所 名古屋医療センター 管理棟5階 第1会議室

6. 研修

2022年度研修・協議会・検討会等開催状況

研修・協議会・検討会が感染対策を行った上で開催されたが、一部の会議でコロナウイルスの影響により中止となった。

会 議 名	開催回数 (年間)	登録医等参加者			院内参加者			その他 (市民等)	
		小計	医師	医師以外	小計	医師	医師以外		
市民公開講座（シンポジウム）	1							111	
地域医療連携web意見交換会（各区分、診療科web面談、web講演会）	7	137	105	32	97	36	61		
HIVカンファレンス	6				4	3	1	131	
HIV研修会	1	123		123	1		1	122	
乳腺症例検討会	12				118	62	56		
胃腸疾患検討会	20				360	340	20		
名古屋救命救急士研修会									コロナの影響で中止
病院での在宅医療研修会									コロナの影響で中止
緩和医療研究会	1	20	6	14	13	6	7		
緩和ケア研修会	1				20	20			
放射線療法・化学療法に関する研修会									コロナの影響で中止
肝・胆・膵疾患検討会	20				360	340	20		
マンモグラフィ読影講習会	4	563	562	1	9	8	1		
愛知県乳がん検診研究会	4	122	25	97	25	10	15		
乳腺超音波講習会	1	55	2	53	2	2			
乳腺超音波更新講習会	4	232	134	98	10	6	4		
マンモグラフィ技術講習会	4	465		465	12		12		
名古屋オレンジバレーンカンファレンス	1	83	10	73	12	5	7		
合 計	87	1,800	844	956	1,043	838	205	364	

7. 金鯱メディネット

インターネットを利用した地域医療連携の運用を行っている。

このシステムでは参加登録された医療機関において当院の電子カルテや画像を閲覧できるシステムであり、地域の診療所等との連携を図っている。電子カルテのセキュリティの問題で2023年2月14日から一時利用停止中となっている。2024年2月に電子カルテ更新予定でその時に再開予定となっている。

- 金鯨メディネット登録施設数（2023年3月末現在）
 - ・105施設（診療所60、病院18、訪問看護3、薬局18、臨床6）
- 金鯨メディネット意見交換会
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止

8. 金鯨友の会

「金鯨友の会」と名付けて、職員との交流や親睦を図るとともに医療、保健などの新たな情報発信の会を設け、主に会員の方を対象にした講演会・勉強会を開催している。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、講演会・勉強会を中止した。

9. 市民公開講座

- 2022年7月23日（土）開催（9:50～11:50）
会場：メルパルクNAGOYA 2階コンベンション「瑞雲の間」
※名古屋市内3機構病院合同市民公開講座（名古屋医療センター・東名古屋病院・東尾張病院）
「コロナ禍に潜むリスクとその予防」
 - ・コロナ禍におけるメンタルヘルスケア
東尾張病院 精神科リハビリテーション研究室長 古村 健
 - ・コロナ禍と子供
東名古屋病院 小児科医師 濱口 典子
 - ・肺癌の診断と治療～最新の話とコロナの影響～
名古屋医療センター 呼吸器内科・腫瘍内科医師 小暮 啓人
- [参加者 64名]

10. 広報誌の発行

2022年度は6回発行し、患者さん及び連携医療機関へ情報発信をした。

発刊号	発行月	巻頭言	ドクターよもやま話	職場紹介		トピックス	医療最前線	連携紹介
第106号	2022.5	『神は細部に宿る』 副院長 梶田 泰一	『桜と花と…』 がん総合診療部長 北川 智余恵	—	—	新任医師紹介	『乳児の食物アレルギー発症予防』 小児科医長 二村 昌樹	医療法人社団青楓会 北名古屋クリニック 理事長・院長 松本 政実
第107号	2022.7	『新任の挨拶』 事務部長 森 元春	『〇〇世代』 外科医長 末長 雅也	外来3階	臨床工学部	『がん地域連携バスをご活用下さい!』	『新時代を迎えたアトピー性皮膚炎の治療』 皮膚科医長 清水 真	桜花ホームクリニック （訪問診療：在宅緩和ケア充実診療所） 院長 山口 仁
第108号	2022.9	『新任の挨拶』 事務部長 吉田 知由	『「多不全」症候群?』 外来部長 循環器内科医長 近藤 隆久	医療安全管理室	心臓血管センター	『名古屋市内3病院合同市民公開講座の開催』	『炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎とクローン病）における薬物治療の進歩』 消化器内科医師 齊藤 雅之	ひらふクリニック 院長 足立 佳也
第109号	2022.11	『患者参加型医療と共同（協同）意思決定（SDM）』 統括診療部長 片岡 政人	『スマホの子どもへの影響』 眼科専攻医 高士 典子	栄養管理室	西6階病棟	『診療看護師とは…』	『過敏症 ～最近の話題から～』 渉外部長 脳神経内科医長 岡田 久	医療法人 AGRIE MED AGREE CLINIC なごや 院長 三宅 孝
第110号	2023.1	『新年のご挨拶』 院長 長谷川 好規	『ブルーサークルとバクワイリボン』 糖尿病・内分泌内科医長 山家 由子	東7階病棟	臨床検査科	『災害訓練を実施しました』 災害対策室長 吉野 能	『「血管の内側」から病気を治す治療法』 脳神経外科医師 伊藤 真史	悠々整形外科クリニック 訪問診療（在宅療養支援診療所） 院長 風間 尚介
第111号	2023.3	『新型コロナウイルス感染症も3年目、振り返る時期です。いつまで“新”型?』 副院長 富田 保志	『バックアップ』 歯科口腔外科医長 小田 知生	薬剤部	西9階病棟	『マイナンバーカードの健康保険利用について』 『マイナンバーカードを健康保険証として使用する』	『かわる馬性リンパ腫の診療』 血液内科医師 鈴木 康裕	医療法人いづき会 守山いつき病院 院長 遠藤 治樹